



地質学・古生物学ゼミで撮影した葉山海岸と江の島（2 ページに関連記事）

目次

地質学・古生物学ゼミの紹介（客員教授 間嶋隆一）	2
令和 4 年度第 1 回横浜市大岡地区センター連携公開講演会の紹介	3
地域史のフィールドワークとしてのウォーキング（K-サポート地域連携チーム 片野賢治）	4
2022 年度の学生生活に関するアンケート（K-サポート機関紙編集チーム）	6
K-サポートからのお知らせ	9
学生サークルからのお知らせ	10
神奈川学習センターからのお知らせ	12



地質学・古生物学ゼミの紹介

放送大学神奈川学習センター
客員教授
間嶋隆一

2022 年度から地質学・古生物学ゼミを開講いたしましたので、ゼミの紹介をさせて頂きます。私は地層と化石から過去の環境を復元する研究をしております。この分野の学習と研究では野外で地層や化石の産出状況を直接観察することが何よりも大切です。そのためゼミも野外での観察を中心に進めてまいりました。野外見学前に教室でセミナーを行い、私やゼミ生の皆さんが観察地の内容を紹介し、事前学習としました。

第1回目の野外見学地として7月26日に横須賀市の貝山緑地地下壕の見学を横須賀市の許可を頂いて行いました。この場所は現在私が中心となって研究を進めておりまして、チバニアンで有名になった房総半島の地球磁場の逆転現象と同様なことが緑地全体で3回起こっている場所です。チバニアンの下限は78万年前に起こったマツヤマ逆磁極期とブルン正磁極期との境界を言います。貝山緑地ではレユニオン正磁極亜帯の下限(214万年前)と上限(212万年前)に加えてオルドバイ正磁極亜帯の下限(193万年前)が確認されています。これらの地磁気逆転境界は横須賀市から横浜市にかけて広く分布しています。よく「地球の磁場

が逆転している房総半島に行ってみたい」というお話を横浜在住の方からお聞きするのですが、私は「地球の磁場が逆転している場所なら横浜には至る所にありますよ」と言っています。

第2回目の野外実習は10月14日に平塚市土屋の12万年前の下末吉海進期の堆積物を見学しました。大磯丘陵には陸上堆積物であるローム層が広く分布しているのですが、この場所には水中で堆積したとされる吉沢(きっさわ)層が分布しています。見学した崖には植物化石を多量に含む黒色の地層が露出し、これまでの研究で泥炭層とされていました。この場所も私が中心となって研究を進めている場所で、「泥炭層」とてきた地層は典型的な泥炭層とは異なっているのではないかという結論を得ております。崖ではこうした点を中心に解説と見学をしました。

第3回目の野外見学は、12月6日に逗子から葉山にかけての海岸沿いの地層を見学しました。海岸には三浦半島最下部の地層とされている葉山層群の森戸層と鎧摺層が広く露出し、葉山層群を上総層群が傾斜不整合で覆う露頭などが観察できます。見学では地質調査の基礎である地層の走



貝山緑地地下壕



平塚市土屋の地層

向と傾斜の定義や測定方法なども実習しました。

2022 年度のゼミは 3 名のゼミ生と行いましたが、放送大学のゼミに参加される皆様は大変前向きで、気持ち良くゼミを進めることができました。この場を借りてゼミに参加された皆様と野外見学にレンタカーの使用をご許可下さったセンター長の大谷英雄先生に心から感謝いたします。



葉山の海岸

令和 4 年度第 1 回横浜市大岡地区センター連携公開講演会の紹介

放送大学神奈川学習センターと横浜市大岡地区センターは、生涯学習社会の実現に向けた「学び」の機会を幅広く提供することを目指し、2019 年度から連携して公開講演会を開催しています。

2022 年 11 月 27 日に、富岡幸一郎先生（神奈川学習センター客員教授・関東学院大学教授）を講師として公開講演会「鎌倉文士 13 人 -古都鎌倉は文学の都-」を行いました。富岡先生は文芸評論家で、鎌倉ゆかりの文学者の展示などを行っている鎌倉文学館の館長も務められています。鎌倉にゆかりのある文学者はゆうに 200 人を超えるそうですが、今回の公演ではその中から 13 人に絞って鎌倉との繋がりをご紹介いただきました。夏目漱石や芥川龍之介をはじめ多くの著名な文学者が鎌倉に縁を持つことがわかりました。また、昨年は大河ドラマの影響もあり鎌倉時代が注目を浴びましたが、富岡先生によると、鎌倉文士の中でも鎌倉で生まれ育ち一度も住まいを移すことなく鎌倉で没した文学者は、鎌倉幕府第 3 代将軍の源実朝ただ一人だそうです。

神奈川学習センターでは、今後も生涯学習に資する講演会等を実施していく予定です。



地域史のフィールドワークとしてのウォーキング

K-サポート地域連携チーム 片野賢治

コロナ禍により、K-サポートのウォーキングは2年間実施が出来ませんでした。人との出会いが重要な要素であるウォーキングが感染防止の観点から中止を余儀なくされたのは仕方のないことと考えます。そしてわずかずつ世の中が動き出した昨年7月、リーダーの田代さんから再開の方向のメールが来ました。実施予定日は11月5日、少人数での実施、午前中で終了させることでした。実施日まで数ヶ月のためコースは2019年実施の大岡川の弘明寺～日ノ出町間になりました。

実はこのコース、私にとっては自分の地元であるだけでなく早朝散歩のコースになっていました。2020年の第一波の緊急事態宣言の時、運動不足解消のためのウォーキングのコースっていました。歩きながら2019年の資料を思い出しながら地域史の勉強もかねてシミュレーションしながら歩きました。当時は再開のコースがここになるとは想像していませんでした。春にはコロナ禍でも例年通り桜は咲き誇り写真も何枚か撮りました。これらを編集し、後に私の所属する放送大学のサークル「人間学研究会」で5月にリモートでの発表を行いました。それ以来ウォーキングは地域史のフィールドワークをテーマに歩くようになりました。



11月5日 ウォーキングの様子



地域史の定義は、中央の歴史を追うだけでは出てこない地域に密着した多くの出来事を知ることにより地域の活性化に貢献することだそうです。思い起こせば私が初めて一参加者として歩いた「金沢文庫・八景」から始まってスタッフとしてかかわった「みなとみらいと本牧埠頭シンボルタワー」「浦賀・久里浜」「馬堀海岸・観音崎」と古代史から近現代史まで地域史の宝庫であります。また、一地域に限らず日本全体の歴史にも深くかかわったところでもあります。そして今回の「大岡川」も同様です。再開されたウォーキングでは私の手持ちの資料から昔の画像「県立商工校舎(現大岡地区センター)」「横浜国大工学部校舎(現横浜国大附属中学校)」「市電弘明寺停留所」「池田使節団とスフィンクス」などを提供させてもらいました。池田使節団は「井土ヶ谷事件」をきっかけに幕府からフランスに送られた「鎖港使」です。団長の池田筑後



守長発について調べたところ非常に魅力ある人物であることがわかりました。

弘明寺は鎌倉最古の寺杉本寺とほぼ同時期に建てられ行基建立の説があり、かつて久良岐郡の郡衙があった場所ともされています。井土ヶ谷の地名の由来となった乗蓮寺には北条政子が化粧したと伝えられている井戸が残っています。弘明寺は源氏代々の祈願所であり昨年の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の舞台鎌倉と弘明寺周辺は深いつながりがあることが確認できます。



吉野町の日枝神社（お三の宮）は 1945 年 5 月 29 日の横浜大空襲で標的の 1 つとされ、本殿が焼失しました。時代は下って東日本大震災で倒壊したにもかかわらず一人の死者も出なかった石灯籠の残骸もあります。また日枝神社周辺から黄金町駅にかけての地域は前述の空襲の甚大な被害を受けたところです。このように弘明寺から日ノ出町までの短い距離の中に様々な出来事が凝縮されています。ウォーキングはそれらの歴史の現場を見て歩くのです。

さて再開ウォーキング当日の 11 月 5 日は天候に恵まれた穏やかな 1 日でした。感染防止対策と人数制限のもとでの実施で、準備期間が短かった割にはスムーズに事故もなく終了しまし

た。これは学習センターの全面的な協力と、リーダーの田代さん、垣谷さんはじめスタッフ一同の経験の賜物であると考えます。今年については現状まだ不安定な要素もありますが昨年の成功を糧に何とか実施できればと願っています。個人的にはここで述べたように地域史のフィールドワークとしてのウォーキングとして、新たな歴史との出会い、参加者の皆さんとの出会いに期待をしたいと思います。



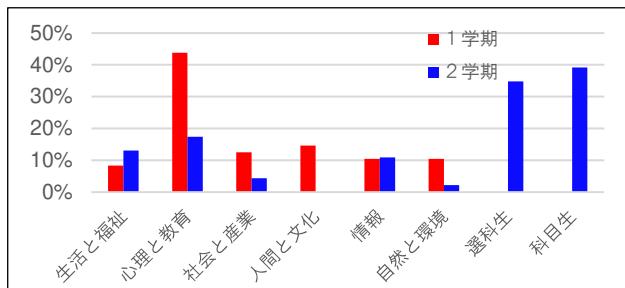
2022 年度の学生生活に関するアンケート

K-サポート機関紙編集チーム

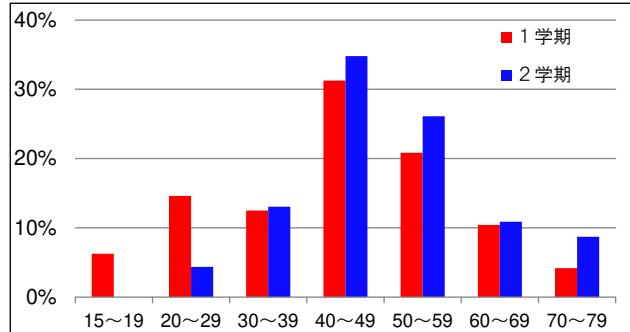
2022 年 4 月 10 日（日）と 10 月 9 日（日）に Zoom 利用で開催された入学者の集いに参加した入学者に呼びかけ、Google フォームを利用した学生生活に関するアンケートを行いました。1 学期 48 名、2 学期 46 名の方から回答を得ています。また、9 月 25 日（日）には、2022 年度 1 学期の学位記授与式が開催され、会場にてアンケート用紙を配布回収しました。55 名の方から回答がありました。

はじめに、入学者向けアンケートを、1 学期と 2 学期を比較しながら紹介します。

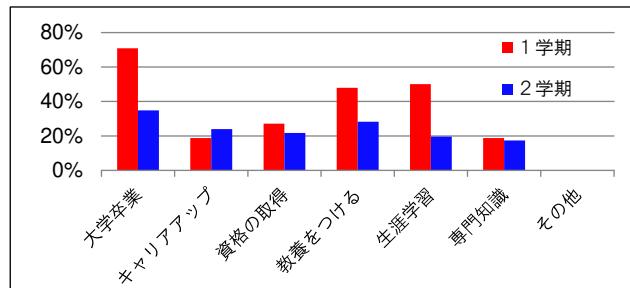
最初の項目は、入学者の学生の種類。1 学期は全科生のみが入学者の集い参加対象者となっています。2 学期は、選科生と科目生も対象となり、全科、選科、科目それぞれ 3 分の 1 ずつの割合になっています。1 学期と 2 学期の傾向の違いは、学生の種類の割合の違いが影響している部分があるとも考えられます。



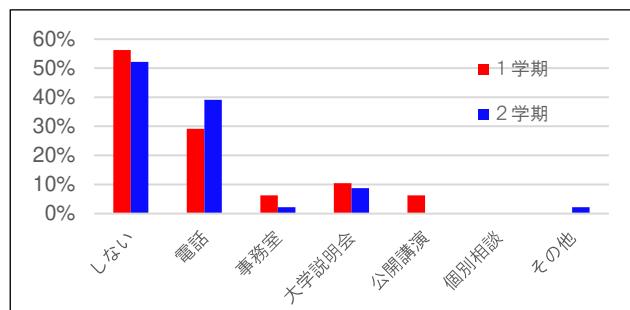
次は、年齢構成です。2021 年 10 月の当アンケートでは、20 代が 40% を占めて 2019 年以前と比べても突出して多かったのですが、本年度 1 学期は、2019 年並、2 学期は、過去と比べても大きく減少しています。それ以外の年齢層は、過去のアンケート結果から大きな変化はなく、コロナ禍を経てリモート開催の入学者の集いとなっても、結局は年齢構成には大きな変化は起らなかったと思われます。



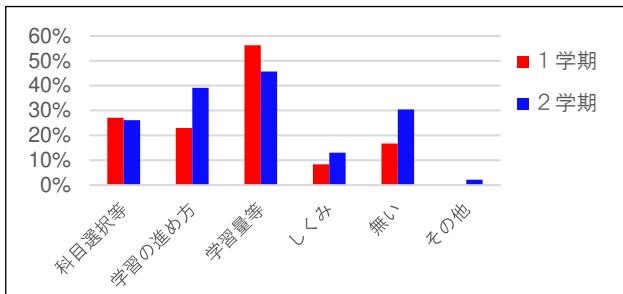
入学動機です、1 学期は、卒業、教養、生涯学習をあげる方が多く、2 学期は、相対的に、資格やキャリアアップ、専門知識を志向する方が多くなっています。アンケート対象者が、1 学期では、ほぼ全科生のみ、2 学期では、全科生が約 40% になっていることが影響していると考えられます。また、過去のアンケートと比べると資格やキャリアアップ、専門知識をあげている方が多く、近年の傾向と言えそうです。



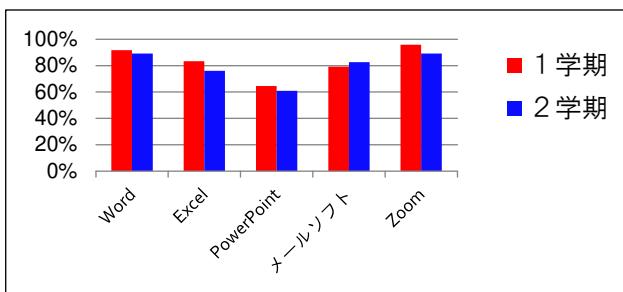
入学前に、相談問い合わせをしたか？ については、コロナ禍になってから、しないという方がとても多くなっています。大学本部への電話相談は、次第に増加していく、相談先として定着しているようにみえます。



放送大学について理解していないことについては、入学前によく調べて理解していると思われる結果になりました。途中で脱落される方があ 少ないと想像できる反面、学生からの問い合わせや質問には、高度な対応が必要になってくるでしょう。



パソコンの習熟度についての項目です。ワードや Zoom は 90%以上が利用でき正在して、その他のアプリケーションソフトも、大多数の方が利用できている状況です。少数ではあります が利用されていない方もいて、何らかのサポートは継続的に必要となっていると思われます。



○自由記入欄

1 学期

- サークルに興味を持った。(6名)
- 質疑応答の場を設けてほしかった。(3名)
- 冊子だけではなくて、説明を聞く場があるのが良かった。(3名)
- K-Support を利用してみたい。(2名)
- コロナ禍で、学習センターが利用しにくい。(2名)

2 学期

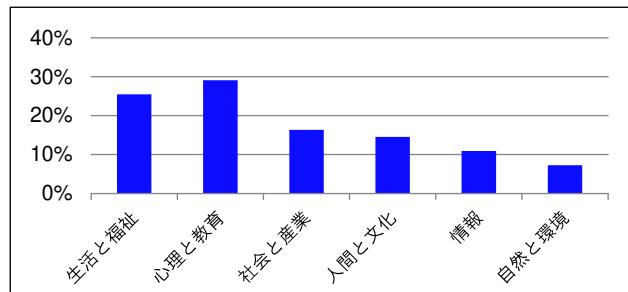
- 放送大学のこと、学習のこと、学習センターのことなどよくわかってよかったです。(6名)
- サークルのことをもっと知りたい、サークル

会員から直接紹介があるとよい。(3名)

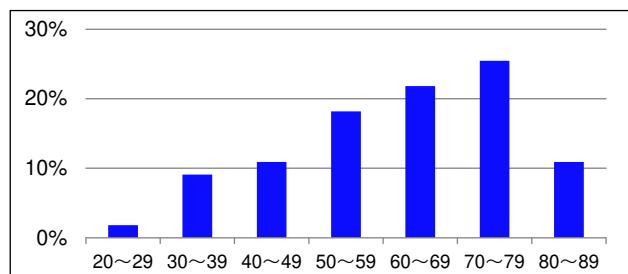
- 勉強を始めるという実感がわいた。(2名)
- 客員教授の紹介ページに、具体的に今年度担当講座とゼミの記載がほしい。
- 在校生の方に学習の仕方などの話があるとよい。
- 学生時代を思い出して勉強が楽しい。
- 計画的に勉強していきたい。
- たくさんの入学者があって励みになる。

次に、2022 年 9 月の学位記授与式にて行われた卒業生向けアンケートです。

卒業生のコースは、心理と教育や生活と福祉が多いながらも、全コースまんべんなく卒業生がいることがわかります。

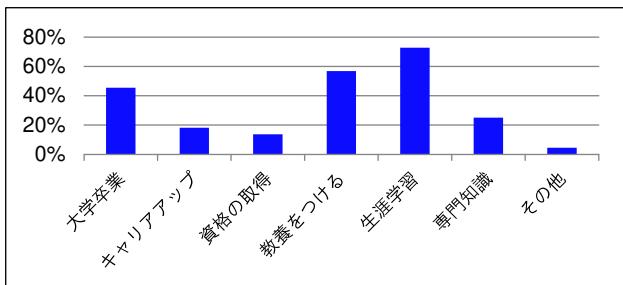


続いて年齢構成です。高齢になるほど、卒業生が多い傾向があります。そして、20 代など若年層が極端に少ない結果となりました。ここ数年、20 代の入学者がとても多いという状況でしたので、今後の動向を注意していきたいと思います。



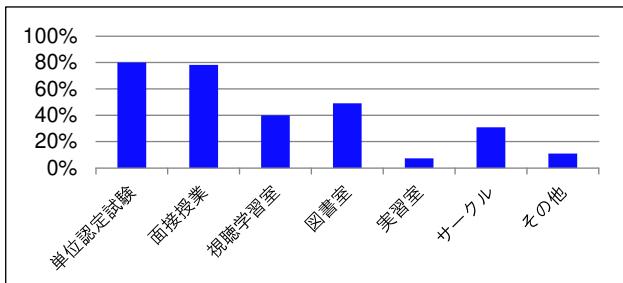
入学したときの動機についての項目です。教養、生涯学習を挙げる方が多く、卒業を挙げる方は 50%を下回っています。卒業生のうち半数が再入学者ということが影響しているとも考えられますが、コメントにもあるように、卒業を目指していなかったけれど、卒業したという方

もいるので、放送大学の卒業は、「結果」であって、「目的、動機」とイコールではないとも言えそうです。

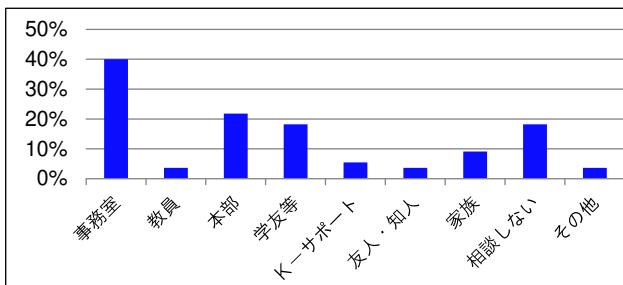


学習センターの利用についてです。3年前から学習センターでの単位認定試験が原則無くなってしまったので、単位認定試験を挙げる方が、徐々に減少しています。また、視聴学習室の利用が図書室の利用との差を拡大するなど、利用の動向に変化が見られます。

次第に、面接授業、図書室利用、サークル参加が、学習センターの中心的な利用方法になって行くように考えられます。また、その他で、「学生証の受け取りのみ」や「コロナ禍で利用できなかった」という回答がありました。

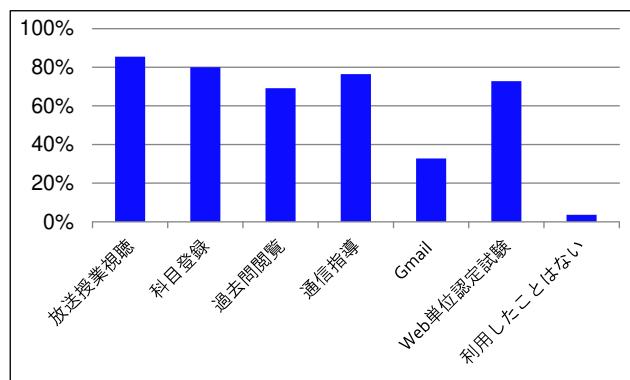


放送大学での相談先です。過年度に比べて、事務室を挙げる方減少傾向、家族を挙げる方が多くなりました。コロナ禍を反映した結果で、次回以降の動向が注目されます。



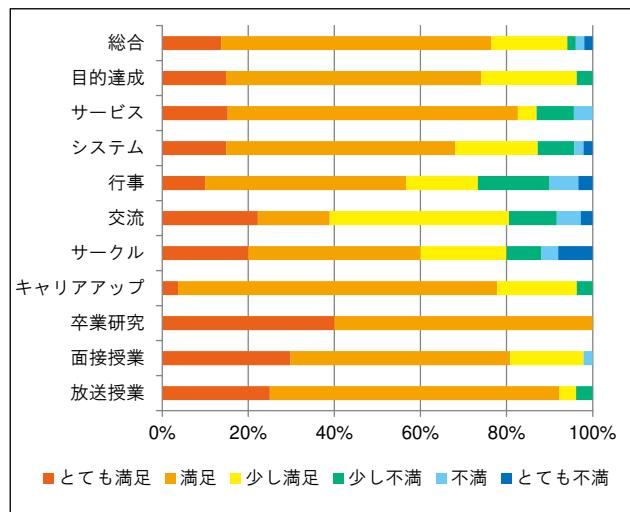
システム Wakaba 等の利用状況です。80%の方は、使いこなしている回答でしたが、利用で

きず不自由している回答もありました。また、Web 単位認定試験も定着しつつあることがわかります。



学生生活の満足度の項目です。特徴的なのは、「少し不満」「不満」との回答が、大きく増加したことです。また、満足している層と、不満な層がある程度存在する特徴もあります。

特に満足度が低いのは、交流やサークルそして面接授業、そして学生生活全体への評価の低下にもつながっています。コメント等も加味すると、先生や学生仲間と交流したかった、サークル活動に参加したかった、面接授業を受けたかった、けれど、できなかった。という理由があると推測できます。これは、長期在学してきた方だけでなく、コロナ禍で入学して卒業した方にも見られ、通信制の放送大学においても、先生方や学生同士がコミュニケーションを取り、交流できることは、豊かな学生生活に欠かせないと思われます。



○放送授業で印象に残った授業

- 現代の国際政治 3 名
- 初步の物理 3 名
- 錯覚の科学 3 名
- 認知心理学 2 名
- 日本文学と和歌 2 名

○面接授業で印象に残った授業

- 心理学実験 2 3 名
- ウォーキングは生涯スポーツ 2 名
- 臨床心理学実習 A 2 名

○自由記入欄

- ・コロナ禍で、サークル活動など学生が交流する場がなくて残念。(5 名)
- ・コロナ禍で、学習センターが利用できず、Web のみになり、学びたい気持ちが低下した。(2 名)
- ・コロナ禍で、面接授業が受けられなかった。受けられるように工夫をしてほしい。(4 名)
- ・コロナ禍になって、通学せずに学べることに魅力を感じて、放送大学に入学。多くの学び

があり、貴重な経験をした。(2 名)

- ・入学したときは卒業を考えていなかったが、興味のある科目を取ったり面接授業を受けていくうちに卒業を考えるようになった。世界が広がりよい経験ができた。(3 名)
- ・半年に数科目ずつの履修でしたが、卒業できた。
- ・中東勤務の経験を経てアラブやイスラムを勉強したいと、24 年前に科目履修生として入学、他の学問に興味が湧き 5 年半前に全科履修生になり本日卒業した。この学びを社会に役立てたい。
- ・「学びたい」を応援してくれる大学、自分のペースで勉強できた。20 代からずっと放送大で学びたいと思っていた。娘が 18 歳になったのを契機に入学した。
- ・仕事と両立させたので勉強に追われた。K-サポートやサークルがあると知らなかった。看護学士の単位の取り方のサポートがほしかった。
- ・第九プロジェクトはとてもよい経験。他の学習センターの方たちとも交流でき楽しかった。

K-サポートからのお知らせ

今年度も残すところ 1 ヶ月を切りました。昨年 4 月からの K-サポートの各チームの活動状況についてご報告します。

- ◆ **5 チーム共通**……第 1 学期と第 2 学期の Zoom による入学者の集いのため、各チームが 4 月上旬に動画を作成、10 月上旬にパワーポイントとナレーションの台本を作成し、事務局が活動紹介を行いました。
- ◆ **学習相談チーム** ……10 月 29 日（土）と 11 月 19 日（土）に学習相談会を開催、2 月 26 日（日）と 28 日（火）に科目登録学習相談会を開催しました。
- ◆ **機関紙編集チーム** ……5 月発行のはるだより、8 月発行のなつだより、12 月発行のあきだより、そして本紙のふゆだよりの編集に協力しました。
- ◆ **地域連携チーム** ……9 月から話し合いや下見などの準備を重ね、11 月 5 日（土）に地域連携ウォーキング「大岡川がみた横浜の移り変わり」を開催し、学内外の 20 余名が参加されました。
- ◆ **バス研修チーム** ……学習センターによるバス研修が催行されなかつたため、対面での活動はありませんでした。
- ◆ **パソコンサポートチーム** ……10 月 29 日（土）、11 月 8 日（火）、15 日（火）、12 月 1 日（木）、2 月 14 日（火）にパソコン初心者塾を開催しました。

3 月上旬に、所長、事務長をお招きして K-サポート全体の活動の発表会を開催し、2022 年度を振り返るとともに、2023 年度の計画を策定する予定です。

2023 年度の活動の予定については、4 月以降に学習センター内の掲示板やセンターだよりの紙面などでご覧ください。

K-サポート事務局

学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせ下さい。神奈川学習センターではお答えすることができません。

**現在、学習センターの利用制限等により、平常時と
異なった活動になっています。現在の活動と平常時の活動が記載されていますので、ご注意ください。**

○神奈川放友会

- ◆1985年神奈川学習センター開設と同時に創立。「共に学び、人間的交流を深め、奉仕によって社会とつながる」ことを理念として活動。会員113名
新しい仲間の入会を歓迎します。
- ◆23年活動予定
 - 2月 冬季例会・会員発表「ハーレーで日本一周」
～68歳からの挑戦～
 - 3月 ワイン研究会。花見・卒業祝賀会
 - 4月 定例総会・新入会員歓迎会
 - 5月 春季例会「写経般若心経」弘明寺副住職説法
 - 6月 古典芸能鑑賞「歌舞伎教室・国立劇場」
- ◆ホームページ:<http://kanagawa-hoyukai.jp/>
- ◆お問い合わせ:真野憲助 mano.ken@nifty.com

○韓国語同好会

- ★目的 韓国語の日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています。
- ★定例会 2回/月
 - ①第1土曜日 9:00～12:00 大岡地区センター
 - ②第3土曜日 10:00～12:00 Zoom(リモート)
授業&親睦会(国際交流を目的に会員以外の有志参加可)
- ★問い合わせ
神奈川サークル協議会ホームページ
<https://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/> (村田)

○資格取得研究会

- 看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、ひと月に1回、土曜または日曜を開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。
- ★会費:¥500(1年間)
- ★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>
- ★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○人間学研究会

- ★「目的:人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」会員65名(男性37女性28)
- *月例会:卒業研究・旅行経験等のテーマで発表
- ・日時:4月8日(土)12:30～、大岡地区センター会議室
- ・会員発表・テーマ:動物いろいろ-2
- ★会誌 せせらぎ33号を発行
- ★ウォーキング:鎌倉付近・美術館等散策、観桜会
- ★お問い合わせ :大和田克美
oowada-katsumi@u01.gate01.com

○うえるかむ Kanagawa

- 私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。
- *例会は原則、毎月第2、第4水曜日。現在、Zoom利用や少人数の学習センター利用対面クラス(上級)で開催。
- *外国人講師の英会話レッスン(10:00～11:30)
(参加費有料、初中級・上級の2クラスに分かれ、各45分)
- *Group Study(13:30～15:30)
(入門・初級・中級・上級の4クラスに分かれ学生同士で学ぶ)
- *10月以降状況によりオンライン・対面併用検討中
- *年会費:現在は無料(通常は年1,000円)
- *ホームページ
<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>
- *問い合わせ
金子 韶(e-mail:kaneko-toyomu@outlook.jp)

○放大多かながわレク・サークル

- ★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」
- ★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)
- ★ウォーキング:2ヶ月に1回、「日光街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。
- ★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。
上記の各種活動はいずれも自由参加。
- 会員募集中(随時申込・受付)—
- ★問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384
E-mail bunsima829@gmail.com

○ダンスサークル（社交ダンス）

学習センターの方針によりコロナ禍での学内活動は休止中。不定期ですが使用可能な学外施設で練習し LINE 等で連絡、近況報告等。

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非ご一緒に踊りましょう。未経験者大歓迎！

★神奈川学習センター第 7 講義室

★毎週火曜 14:00～16:00(第 1, 第 3 週は自主練習)

★会費 1500 円/月、年会費 1000 円

★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)

★連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

○スペイン語研究会

★目的：西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。★活動：月 2 回(第 1・第 3 金曜日)。★会費：初級 月 1,000 円 中級 月 2,000 円 ★内容：ペル一人女性講師による日常会話習得、会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。★その他：反省会等。★学習センター閉所中は、大岡・南地区センター利用。★連絡先：会長・肥後照雄・メールアドレス：1210271224@campus.ouj.ac.jp

○中国語学習会

日常会話の習得を目指して、中国人の先生とのしく学びます。今は Zoom でのリモート授業と、大岡地区センターでの対面授業を、コロナの状況を見ながら実施しています。原則第 2・4 日曜日の午前 11 時から〔発展クラス〕と、午後 1 時 30 分から〔基礎クラス〕の 2 コース。どちらにも参加できます。初めての方も、それなりの方もたのしい仲間がいます。詳細は、下記までお問合せください。

elcondor@ra2.so-net.ne.jp : 近藤または、

tomomama4213@docomo.ne.jp : 細矢まで。

○神奈川合唱団

★合唱未経験者歓迎

★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでおります。

★2021 年度は、チャリティ・コンサート(神奈川公

会堂)で「アーローリー」、「心の瞳」等を歌いました。★指導は、発声・歌唱を清水一成先生(プロのオペラ歌手)

ピアノ伴奏を新井ゆう子先生のご指導で練習に励んでおります。

☆場 所：大岡地区センター 音楽室 2 階

(放送大学神奈川 SC の斜め前のビル)

☆練習日：毎月 第 2・4 水曜日 18:30～20:30

☆連絡先：nobukishi0429@gmail.com

○歩・歩の会（地球研）

目的：地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルで、地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考え、SDGs に寄与していきたい。

活動：毎月一回程度

活動場所：三浦半島海岸、伊豆大島、丹沢山地、伊豆東部単成火山群の地質、地層の観察、各地の Geo Site 行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。(代表：吉岡・中澤)

e-mail earth.hoho.kanagawa@gmail.com

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、公式ホームページを開設しています。「放送大学神奈川同窓会」または「波濤 Web」で検索してください。(<https://hatoh.net>)

内容は、会報『波濤』、行事の開催案内と報告、会員投稿などです。

そして、会報『波濤』は創刊号から最新号の 64 号まで pdf にてお読みいただけます。(創刊号から、56 号までは、「旧波濤 Web」内の「波濤」のページでご覧ください)

お問い合わせは、info@hatoh.net まで

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、菅崎、三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務室)

神奈川学習センターからのお知らせ

2022（令和4）年度放送大学学位記授与式について

2022（令和4）年度放送大学学位記授与式は下記の通り挙行いたします。なお、神奈川学習センターでの学位記授与式や卒業生の集いは実施いたしません。

日 時 2023年3月25日（土）11時00分～12時00分（予定）

場 所 NHKホール

また、BS231chで学位記授与式を収録した番組を放送する予定です。詳細については、3月上旬を目途に大学ウェブサイトで公表されます。

実習室のエアコンの復旧について

6月末から故障していた実習室のエアコンの修理が完了し、冷暖房が使用できるようになりました。長期間ご不便をおかけいたしました。なお、実習室の使用可能日については神奈川学習センターウェブサイトをご参照下さい。

神奈川学習センターの駐車場について

当センターでは原則として自動車通学を認めていません。ただし、障がいがあるなどの理由により車使用が不可欠な場合は、手続き後に許可を受けて駐車場を使用することができます。駐車場の使用を希望される場合は、障害者手帳や医師の診断書等をご用意いただき、事前に事務室窓口にご相談ください。

2023年4月以降の図書室・視聴学習室の利用等について

2023年4月から、図書室・視聴学習室の利用受付、予約図書の貸出・返却、文献複写の受付は、曜日・時間を問わず事務室窓口で行います。図書室職員は配置しません。

2023年度第1学期（4月入学）入学生 ただいま出願受付中！

ご家族やご友人で入学を検討されている方や、放送大学に興味があるという方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

募集学生 教養学部（全科履修生・選科履修生・科目履修生） 大学院（修士選科生・修士科目生）

募集期間 第1回 2022年11月26日（土）～2023年2月28日（火）

第2回 2023年3月1日（水）～2023年3月14日（火）

パンフレットや募集要項は、放送大学ウェブサイトから無料にてご請求いただけます。

お電話でお申込みいただくこともできます。

資料請求先 放送大学「資料請求」 <https://www.ouj.ac.jp/seikyu/>

神奈川学習センター TEL: 045-710-1910